

(5) 消費生活と環境のかかわり

① 学習や活動の内容

＜消費生活が環境に及ぼす影響を調べてみる＞

- ・ 台所などからの生活雑排水が河川や湖沼の水質に及ぼす影響
- ・ 家庭から出されるごみの処理が大気や水質に及ぼす影響
- ・ 自動車などが大気や生活上の環境に及ぼす影響
- ・ 日常生活が地球環境に及ぼしている影響

＜消費生活の変化と環境汚染の関係を調べてみる＞

- ・ 食事、炊事など食生活の向上
- ・ 暖、冷房などエネルギー使用量
- ・ 炊事、洗たくなど水の使用量
- ・ 販売方法の変化や消費の拡大に伴うごみの増加

＜環境に配慮した生活の工夫を考える＞

- ・ 生活雑排水をできるだけ家庭内で浄化する工夫（p51参照）
- ・ 水やエネルギーのむだをなくす工夫
- ・ 不用品の交換など資源再利用の工夫
- ・ ごみを減らす工夫
- ・ 環境に配慮した商品を選択するなど消費での工夫

＜日常生活に伴う環境問題を調べて少なくするための方法を考える＞

- ・ 依然としてあとを絶たない空き缶、空きびんなどの散乱
- ・ 生活雑排水による河川や湖沼の水質汚濁
- ・ ごみ出しの一部不徹底や犬、猫などの飼育に伴うペット公害

— 日常生活に伴う環境問題は、一人ひとりの小さな行為によってひき起さされる。これらを少なくしていくにはどうしたらよいのだろうか。 —

② 学習や活動の進め方

<講習会、展示会の参加によるもの>

- ・石けんづくり講習会…水質汚濁につながるてんぷら油など食用廃油を使った石けんづくり
- ・消費生活展…消費生活のあり方についての展示会
- ・公民館などで行われる講座や学級など
- ・その他、県、市町村、団体などが実施する講演会、研修会、展示会など

<活動の参加によるもの>

- ・町内の清掃、河川・公園の清掃、花いっぱい運動など
- ・消費生活、資源リサイクル活動など

<家庭のなかで……>

- ・日用品や電気器具等は正しく使っているだろうか。
- ・台所やふろなどの排水口からごみを流さない工夫を考える。
- ・台所のごみなどを見てごみを減らす工夫を考える。
- ・環境に配慮した生活の工夫について家族で話し合いをする。

<買物のなかで……>

- ・環境に配慮した商品（エコマーク商品など）について考える。
- ・ラベルや説明書などによって商品の特徴をよく調べる。
- ・包装のあり方について考える。

<見学によるもの>

- ・工場、事業場の見学…工場、給食センター、浄水場、下水処理場、廃棄物処理場などを見学し、大気や水を浄化するための方法や、これに取り組む人々の様子を知る。
- ・公害センターなどの見学…県の公害センターや生活科学センターなどを見学し、日常生活と環境との関係について学習する。

家庭でできる生活雑排水対策

台所での対策：

- ・ 食べ残しのないように必要な量だけ調理する。
- ・ 調理くずや食べ残しは流し台から流さないようにして、生ごみとして処分する。
- ・ 食器や鍋の汚れは紙などで拭き取ってから洗う。
- ・ 不用の食用油は紙に吸わせてごみとして出すか、石けんとして再利用する。
- ・ 米のとぎ汁等は花木へのまき水に利用する。

洗濯時の対策：

- ・ 石けんやリンを含まない洗剤を使用する。
- ・ 洗剤は適正量を確認して計量カップで量って使用する。

風呂での対策：

- ・ 風呂の残り湯は洗濯や掃除に再利用する。

4 学習や活動の支援

学習や活動の支援にあたっては、適格な情報を効果的かつ効率的に提供していく必要がある。

情報の効果的な提供を進めるためには、学習や活動の目的、内容などを考慮して、場面に応じたきめの細かい配慮が求められるとともに、情報の効率的な提供を進めるためには、情報のデータベース化を推進していくことが重要である。

また、環境教育に取り組む人々の輪を広げるためには、地域の中心となるリーダーを育成するとともに、団体に対する支援を強化する必要がある。

さらに、学習や活動に取り組む人たちが交流を深めたり、学習をする場の整備を進めなければならない。

具体的な支援の方法としては、次のようなものが考えられる。

情報の提供

- ・ 定期刊行物、パンフレット、広報紙の配布など
- ・ VTRや副読本などの教材の提供
- ・ 新聞、テレビ、ラジオなどマスメディアの積極的な活用
- ・ 展示会、講演会、見学会などの開催
- ・ 県民、市町村民総ぐるみ運動の展開

指導者の育成

- ・ 指導者の発掘、確保
- ・ 指導者に対する情報の提供
- ・ 指導者研修会や交流会の開催
- ・ 講師、助言者紹介のための人材バンクの整備
- ・ モニターの設置とモニターの研修

活動団体に対する支援

- ・ 情報の提供
- ・ リーダーに対する講座の開催
- ・ 人材の紹介、活動の場の提供

- ・ 活動内容の紹介
- ・ 環境保全活動などへの参加の呼びかけ

学習や交流の拠点の整備

- ・ 環境教育の中心となる拠点の整備
- ・ 地域における環境教育の中心となる拠点の整備
- ・ 公民館、図書館、博物館、資料館などの社会教育施設での情報コーナーの設置
- ・ 社会教育施設での講座の開設

情報の整備

- ・ 環境に関する情報の収集や資料の開発、蓄積
- ・ 情報の加工やデータベース化による情報の効率的利用の促進
- ・ 情報ネットワークの整備による情報の利用拡大

推進体制の整備

- ・ 環境教育推進のための組織の設置
- ・ 県、市町村、民間の相互の連携強化のための定期的会議の設置
- ・ 環境保全基金事業、自然保護基金事業、みどりと水の森林基金事業の活用

地域における活動団体の状況

団 体 名	連 絡 先
国見岳を守る会 60名	福井市本郷公民館内
槇山を育てる会 850名	福井市東郷公民館内
福井の海を守る会 1,410名	福井市鷹巣公民館内
城戸の内川河川愛護団 140名	福井市城戸の内(代表者宅)
荒川を美しくする会 200名	福井市上北野町1丁目(代表者宅)
芝原を美しくする会 1,000名	福井市東藤島公民館
一乗観光フリーサービスクラブ 13名	福井市安波賀町13-32(事務局長宅)
気比の松原を愛する会 104名	敦賀市松原公民館内
二夜の川を美しくする会 800名	敦賀市松原公民館内
武生市明るい町づくり協議会連合会 9,890名	武生市府中1丁目13-7 (武生市役所内)
武生市親切運動推進協議会 200名	武生市東公民館内

活 動 内 容 な ど
<p>国見岳周辺の美しい自然環境を保護し、緑の資源と郷土を愛する市民意識の高揚を図るため、自然環境の保護、美化および市民の憩いの場として健全な利用に資する事業を実施している。</p>
<p>槇山公園一帯の環境整備をはかることにより市民の情操教育に資する。</p>
<p>福井市の海岸の自然環境の保護と美化に努めるとともに、郷土美化意識の高揚、啓発に寄与するため、海岸のごみ収集、清掃、看板の設置、文化財の広報を行っている。</p>
<p>河川の清掃、草刈りを区民が全員で毎年実施している。</p>
<p>河川の一斉清掃や鯉の放流を行い、地域住民に美化意識の高揚を呼びかけている。</p>
<p>用水を美しくするための啓発活動、実践活動、調査活動などを推進し、沿岸に住む市民自ら用水を美しくしようとする意識を喚起している。</p>
<p>一乗谷をホタルの飛び交う夢とロマンの里にしようと、一乗谷川の清掃、草刈り、一乗城山登山道整備、観光案内板の設置、ホタルの飼育を行い、毎年ホタル祭を実施している。</p>
<p>気比の松原の自然を保護し環境破壊から守るため巡視活動、広報活動、植樹活動、清掃や先進地視察研修を行っている。</p>
<p>二夜の川を宅地化、ごみの不法投棄等河川周辺の環境破壊から守るため、鯉の放流、看板の設置、植樹活動、清掃、巡視活動、先進地視察研修等を行っている。</p>
<p>毎年、春と秋に環境美化行動日を定め、市内を流れる河川の堤防の清掃をはじめ道路や公園等の清掃、花いっぱい運動を行い、地域の環境美化に努めている。</p>
<p>市内を美しくするため、タバコ入れの設置・回収、空き缶拾い、日野川堤防へのコスモスの種まきなどの環境美化活動を年間を通じて行っている。</p>

団 体 名	連 絡 先
繁栄会 40名	小浜市1番町(会長宅)
宮川をよくする会 200名	小浜市新保(会長宅)
上据区河川愛護会 38名	大野市稲郷(会長宅)
大野の水を考える会 600名	大野市春日2丁目(会長宅)
新堀会 60名	大野市泉町14(会長宅)
御清水の会 51名	大野市泉町4(会長宅)
大野地球科学研究会 23名	大野市陽明町3丁目609番2号 (会長宅)
勝山市平泉寺区まちづくり会 140名	勝山市平泉寺町平泉寺(会長宅)
保友会 30名	勝山市鹿谷町保田(会長宅)
日野川(支流を含む)を美しくする会 15,000名	鯖江市民生部保健環境課内
河和田をよくする会 1,317名	鯖江市河和田コミュニティー センター内
下河端河川を美しくする会 211名	鯖江市下河端公民館内

活 動 内 容 な ど
豊かな水の恵みに感謝し区内の繁栄を図ることを目的とし、水天宮をお祀りし水に対する感謝の気持ちと関心を深めるために水祭りを催すほか、地域における水環境保全に努める。
地域全体の環境美化を目的に河川の清掃を実施していたものを、さらに市全体に展開し住民による清掃活動を推進している。
清滝川の河川敷地等の清掃を目的として活動に取り組んでいる。
大野の地下水の節水、水質の保全活動に取り組んでいる。
新堀川に鯉を放流する活動のほか河川浄化活動を展開している。
歴史的文化遺産として重要で、住民の生活と深くかかわりをもっていることから人々に親しまれている「御清水」の保存を目的とした活動に取り組んでいる。
地球科学知識の普及は自然のすばらしさを再認識するものであるという考えから、小・中学生を対象に天体観測指導や鉱物、岩石、化石の採集会に協力する活動を行っている。
地域内の河川、公園、道路などの清掃をはじめ、国立公園内の白山登山道整備や観光地である名勝・旧跡などの清掃・保護活動を定期的に行い、地域住民の意識の高揚を図っている。
区神社境内の植樹、交通標識と道路標示の整備、河川美化運動の実施などに中核集団として実践に努めている。
自然環境の保護について住民の意識の向上を図ることを目的とし、河川の一斉清掃、花づくり、ホタルの里づくり、野鳥と植物を見る会等を行うほか、河川生物観察学習会を市内の小中学生を対象として行っている。
河和田川を清潔に保持し、昔のような清らかさを保つため、清掃奉仕や魚の放流、環境美化啓発チラシの配布等の活動を行っている。
地元の河川をきれいにするため町民が一体となって河川の一斉清掃を実施している。

団 体 名	連 絡 先
番田竹田川を美しくする会 38戸	芦原町番田（代表者宅）
ふるさとの川竹田川をきれいにする会 2,000名	金津町厚生課内
ボランティアグループちひろ会 10名	河野村河野（会長宅）
天王川を美しくする会 150名	朝日町中央公民館内
五湖自然を守る会 100名	美浜町（会長宅）
鳥羽を考える会 470名	上中町鳥羽公民館内
安賀里地域を住みよくする会 63戸	上中町安賀里集落センター内
鹿野懇話会 24名	大飯町鹿野（会長宅）
佐分利川を美しくする会 1,500名	大飯町本郷（会長宅）

活 動 内 容 な ど
番田地区住民が竹田川の清掃を毎年実施し、ふるさとの川を美しく守る意識の高揚を図っている。
竹田川の環境保全として金津町地区23区の全区民が、護岸の草刈りやごみ拾いを行っている。
生活上の問題点、地域の問題点を整理し、花壇づくりや側溝の清掃、空き缶拾い等できることから実践している。
天王川をかつての清流にもどし、多くの魚類やホタルが生息し、子供たちの水遊びができる豊かな自然を守り育てることを目的として活動している。
ふるさとの自然（海岸、久々子湖）を保護し、水質汚濁の防止を図るため、町民および観光客に対しごみ等の不法投棄の防止を呼びかける他、清掃活動等環境保全や自然保護に関する活動を行っている。
環境保全に関する活動として、緑化の推進、河川の美化運動、公園整備等を主な活動として取り組んでいる。
安賀里川を昔の清流に戻すため子供から老人までが河川の清掃等に取り組んでいる。
区の壮年が集い親睦と地域社会の向上を図るために結成された組織で、その活動の一つとして、河川の清掃作業を実施している。
町制施行30周年記念行事を契機に会を結成し、明るい町づくり、河川堤防の草刈り、ごみの収集などに努めている。